



◆いじめや差別を絶対許さない、共に支え合う共生の心を持とう！ ～ 5/11 全校朝会

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言の発令により、4月21日（火）から臨時休校となっていた学校が5月14日（木）より再開されることになりました。鹿島市では、学校再開に向けて、5月11日（月）から13日（水）まで登校日が午前中に設定され、5月11日（月）が事実上の学校再開の日となりました。



そこで、11日（月）に本年度第1回目の全校朝会を校内放送で行いました。子ども達には、学校再開に向けて、新型コロナウイルスの感染拡大による差別やいじめについて触れ、決して許されない行為であること、互いに思いやりを持って助け合い支え合いながら頑張っていくことの大切さについて話をしました。

みなさん、おはようございます。今日、久しぶりに、みなさんの元気な姿を見ることができて、とても嬉しく思いました。新型コロナウイルスの感染が流行し、全国に感染者が広がっていることにより、4/21より臨時のお休みが昨日まで続きました。長い休みの中で、外に出られなかったり、行動が制限されたりと、いつもとちがう生活を送らなければならなくなり、みなさんも、いろいろなストレスや不安などを感じていたのではないのでしょうか。

そのような中、学校が今日から始まることになり、みなさんもたくさんの友達と会えて、とても嬉しく思っていることだと思います。私も、先生方も、みなさんと久しぶりに会えてとっても嬉しいです。まずは、この嬉しい気持ちを大切にしたいと思います。しかし、新型コロナウイルスの感染が終わったわけではありません。まだまだ、これからも生活に気をつけながら暮らしていかなければなりません。このような時だからこそ、お互いが励まし合い、助け合うことがとてもとても大切です。今まで以上に、友達への思いやりのある行動、言葉かけを行っていきましょう。

しかし、このような中、私はとても悲しいニュースをテレビで見かけました。新型コロナウイルス感染に関して、様々な立場の人たちが、心ない言葉や行動で、深く傷つけられているというニュースです。検査を受けた方、感染した方、外国出身の方、海外旅行から帰ってきた方、また、病気の広がりを予防するために働いている方（お医者さんや看護師さんたち）、マスクや薬を作ったり販売したりしてくださる方、生活に必要なものを届けてくださる宅配便の方や長距離トラックのドライバーさん、…他にも、たくさんの方が、感染の危険が高まる中、予防を徹底しながら、勇敢に、一生懸命働いてくれています。そして、その家族のみなさんも、働くお家の人と共に闘っているのです。このような人たちが、差別され、嫌がらせをされているというのです。私は、このニュースを見て、とても腹立だしく、くやしく、そして、とても悲しい気持ちになりました。私は、日本中のみんなが大変なときだからこそ、社会を支えてくださっているすべての人達に「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えたいです。みなさんはどうですか。

学校では、様々な学習を通して、いじめや差別を許さず、その解決に向けて行動することの大切さや素晴らしさを学んできました。想像してください。うわさや不確かな情報に流されたり、または、本人は何も悪いことをしていないのに、仲間外しにしたり、嫌がらせをしたり、からかったりすることは、人を傷つけ、生きる希望を失わせることとなります。もし、自分や自分の兄弟姉妹、お家の人がそのような状況になって、差別やいじめを受けたらとても悲しいことだということは、古枝小のみなさんなら、きっとわかると思います。あなたの周りで、困っている人、不安な気持ちでいる人がいたら、その人に寄り添い「大丈夫？」「一緒に頑張ろうね」などと、優しく声を掛け合い、みんなで一緒に支え合ってほしいと思います。今日から学校が始まります。この長い休みで、学校がみなさんにとって、とても大切な場所であることがわかったと思います。だれもが、自分も、そして周りの人も大切に、だれもが安心して過ごせる学校を、みんなで作っていきましょう。

そして、最後に、学校再開に向けて次のことを約束しました。



<してはならない、許されないこと>

- × だれかが悲しむようなことを言ったり、したりしない。
- × 本当かどうかわからない情報を広めたり、うわさ話をしたりしない。
- × 「ウイルス」「コロナ」などの言葉でからかったり、ふざけたりしない。

<してほしいこと>

- ◎ 困っている人、不安な気持ちでいる人を支えよう。
- ◎ 自分も、周りの人も、大切にしよう。
- ◎ 一人で悩まず、相談しよう。



◆5月14日(木) 学校再開! ~ 子ども達の元気な声に戻ってきました!

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、緊急事態宣言が発令され、4月21日(火)より臨時休業となっていた学校が、5月14日(木)、23日ぶりに再開しました。学校は、久しぶりに子ども達の元気な声が響き渡り、活気に満ち溢れました。



また、学校では再開するに当たり、マスク着用による登校や、朝の健康観察の強化、手洗いや換気の徹底、子どもの座席の間隔を広げる、等々の感染リスクを軽減する取組を行ってまいります。佐賀県内は幸いにして、新型コロナウイルス感染者数がゼロの日が続いています。今後、佐賀県内等の感染状況を見ながら、少しずつ日常の学校生活を取り戻していきたいと考えています。保護者の方にも今後、お願いすることもあるかと思いますが、どうぞご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、朝の登校時に、林倫藏様(学校前 林薬局)が来校されて、学校再開に向けて大変貴重なマスク350枚を、子ども達にいただきました。本当にありがたいことです。大切に使用させていただきます。



【朝の登校の様子】



【林倫藏様 マスク寄贈】



【教室の様子】



【給食の様子】

◆第1弾 2020. 地域と共に創る学校づくり ~ 心豊かな古枝っ子を目指して

<5年生作り体験スタート!>

5月19日(火)公民館館長の今村一郎さん(上古枝)、米作り先生の鶴田英則さん(久保山)、松本孝次郎さん(下古枝)達のご指導の下、5年生の恒例行事「米作り体験学習」がスタートしました。

この日は、最初の作業である「種蒔き」作業を行いました。まずは、種を蒔くケースに土を敷き詰めていきます。次に、土を入れたケースに種籾を万遍となく振り分けていきます。子ども達は、新型コロナ対策ということもあって、みんな間隔を取りながら作業を進めていきました。そして、種籾を蒔いたケースに赤土をかぶせ苗床へ運びます。子ども達にとって初めて経験する米作り作業でした。慣れない作業でしたが、みんなで協力し汗を流しながら頑張りました。

5年生は明日より、水の管理をしながら苗を育てていきます。そして、田植え、稲刈り、脱穀と、米作りの全ての行程を体験します。一年間を通じて、みんなで協力しながら一つの大仕事をやり遂げるという体験は、学校リーダーとしての資質・能力を大きく育むことにもつながります。5年生、頑張れ!

なお、昨年度の1月に松本工務店様(下古枝)のご好意によりコンクリートで苗床を立派に造っていただきました。この場をお借りして、あらためて感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



【種蒔き作業の説明】



【土を敷き詰める作業】



【種籾蒔き作業】



【ケースを運ぶ作業】



【網をかけて作業終了】

<手作りの竹とんぼをいただきました!>

5月27日(水)古枝小学校のそばに住んでいらっしゃる、中山幸士様から手作りの竹とんぼを、新一年生の子ども達一人一人にいただきました。一年生の子ども達は、思わぬプレゼントに大喜びで、早速5時間目に、運動場で、竹とんぼを飛ばして遊びました。どの子ども達も次第に飛ばすコツをつかみだし遠くまで飛ばすことができるようになりました。中山様、子ども達に、素敵なプレゼントをどうもありがとうございました。

